



## マンスリーレポート

report

### report

■2006年マンスリーNEWS番外編 中国・杭州レポート その3

4月15日(土)

3日目のレポートです。

朝起きると、いやー眠いです。

毎日続くハードスケジュール、かなり体力も消耗してきました。

3日目の今日はお休みとゆうことでゴルフにきました。

### 杭州西湖国際ゴルフカントリー倶楽部



#### Hangzhou Westlake International Golf & Country Club

杭州西湖国際ゴルフクラブは、ゴルフの神様JackNicklausに設計を委託しました。

約660acresの壮大な丘陵地帯に水と林そして自然の起伏を利用した戦略性に富んだコースをレイアウトしております。

北と南に趣の異なる各々18ホールを配し国際試合も出来るチャンピオンコースでもあります。

全36ホールからなるコースレイアウトのうち、北コース18ホールは、ビギナーから中級クラスのお客様向け、南コース18ホールは、国際大会も開催できる難易度の高い本格派コースです。

クラブハウスは36ホールが全貌できる高台に位置しカナダの建築会社Crang&Brokeによって設計されたオリエントの趣と西洋の風格を巧みに組合わされたものです。

【倶楽部名】 杭州西湖国際高爾夫郷村倶楽部

【地理住所】 浙江省杭州市之江国家旅游度假区内

【占有面積】 2.6平方キロメートル

【デザイン】 ジャックニクラウス  
【練習施設】 400ヤードドライビングレンジ  
【関連施設】 クラブハウス、アスレチッククラブ、ホテル  
【有限公司】 杭州西湖國際高爾夫鄉村俱樂部有限公司  
【熱線電話】 0571-87970060  
【球場電話】 0571-87310437

URL <http://www.westlakegolf.com>

## 中国でのゴルフ事情

中国では、まだゴルフ人口は少なく富裕層の人が主に出来るスポーツです。

又、主に外国人が多くプレーしています。

金額は休日で1000元（日本円で約15,000円）ぐらいです。

中国、杭州の平均所得が2000元～3000元ですから一般の人は出来ませんよねー。

経済発展していく中国国内は、これから日本のようにゴルフ場はドンドン出来るでしょう。（なんせ土地は有り余っていますから）

## 杭州西湖国際ゴルフクラブ

当日は30度近くまで気温が上がり、かなり暑かったです。コースは18ホールしか運営してなかったんですが広い、広い、1番ティまでカートで行くんですが、遠い、遠い日本とはちょっとスケールが違いますね。



受付です。なかなかの対応！



スタートホールへ向かいます！



見て下さい。素朴な笑顔！イイデスネー

又、コースはすばらしく、まるでここはアメリカ西海岸のゴルフリゾートのように、コースの周りに別荘が立ち並んでいます。ロケーション的には最高です。

コースもフェアウェーが狭く、距離がある難コースです。池とバンカーが多く、私は両方に苦しめられました・・・トホホ



練習場です。見て下さいこの広さ！



池が行く手を阻みます！



このショートホール左が川！プレッシャが！

キャディは基本的には、一人に一人付きます。（ですからボールはかなり見てくれますので、OB以外はなくしません。目はかなりいい！）

キャディさんは日本のように年配の方が一人もいませんでした。みんな20歳前後です。（でもチョット・・・）

基本的にキャディさんは日本語が話せないので身振り、手振りで対応です。（これがなかなか面白い・・・）

8時半ごろにスタートして、1時ぐらいには終わります。基本的にスルーで回ります。（このあと観光が十分出来ます。）

ちなみに上のショートホールは左の川に誘われてしまいました。（情けないなー）

行ったメンバー全員ゴルフ大好きなので楽しくプレー出来ました。

ちなみにスコアーですが、さすがN氏とY氏は80台、K氏も90台前半となかなかのスコアー。



Y氏、このあと唸りをあげる！



ロケーションは最高だが、狭い！



別荘が！金額は億とか・・・

特にY氏のドライバー今回は火を噴いてました。

私ですが、最終ホールこのパットが入ると99、入らないと100の大台に行ってしまう。

そのときです。

Y氏が私に言いました。「絶対にいれろ」「気合だ」とその言葉で私は何とかそのパットを沈め99と2桁のスコアーで上がれました。

その晩の酒がうまかったのは言うまでもありません。

あの言葉がなかったらへたれになってました。（ゴルフってメンタルが重要ですネー）

ありがとうございました。

きっとこのゴルフ場も何年かするともっと有名になって、一般の人は出来なくなってしまうような気がします。

是非、ゴルフ好きの方は杭州へ行ったらチャレンジしてみてもはどうでしょう！

ゴルフも終わりこれから観光です！

これから約2時間かけて龍門古鎮に向かいます。



ドライブです。料金所！

移動中の景色です。郊外はこんな感じ！

もうすぐ龍門古鎮です。

龍門古鎮へ行く途中は車の中でバク睡です。（上の写真はN氏の撮った写真です。）

古鎮の近くの中華レストランで遅めの昼食です。



記全徳と言うレストラン古鎮の目の前です。

見てください！鳥一匹入ってます。

なぜか外にはジャン卓が！店の子供が・・・

この店で腹ごしらえをして龍門古鎮へ向かいます。

## 龍門古鎮

馴染み深い三国志「孫権」の末裔が生存している富陽「りゅう龍もん門」古鎮



入り口です。なかなか広く見ごたえがあります。古い時代のものが好きな方はたまりません！

龍門古鎮は富春江の南岸に位置しています。

東漢時代の文学者嚴子陵がここを遊覧し、「山紫水明で、中原龍門にも勝る」と絶賛したことで龍門と名付けられました。

龍門古鎮はその古さで名を馳せています。

今でもたくさんの明清時代の建築物が保存されていて、各建築物群の間は卵石畳の小徑にて繋がり、小徑は四方八方に通じています。

「大雨の日に村全体を廻っても靴は濡れない」といわれています。

村の90%以上の住民は三国時代東呉孫権の後世で、中国古代宗族集中居住の典型的な例です。

村の入り口には門がぼつんと立っているだけで、外からは中の様子をうかがい知ることはできません。

そばにあるチケット売り場で一人35元を支払い入場。



中国の方も観光に来ています。



入り口の広場です。整備されています。



入り口より川沿いを歩きます。

想像以上に古い建築物が、狭い通路をはさみ建ち並び、その通路は無秩序に交差し、あたかもそこは迷路。

この村は、実際に人が暮らしています。聞いたところ、若者は街を出て行く場合が多く、残った村民は農業と、バドミントンのラケットのネット張りなどの内職を行っています。



水くみ！



石を運ぶトラック！すごい爆音です。



昔の家の上に又、増設したみたい？



かわいいですねー



みんな生活しています。子供は元気！



川で洗濯！



中庭にある池です。現代と過去の調和かな？

重みのある入り口です。

ボロボロの家！まだ住んでいます。

建築物によっては400年前の物もあり、もう朽ち果てそうなものもあります。

実際住民が暮らしているため、中には学校や小さな商店、散髪屋等が散見されました。

ところが観光客向けのレストランや土産物屋は見あたりません。

どうやら街並みの保全に力を入れているようで、勝手な開発はできず、住居のエアコン設置さえ禁止されているそうです。

政府からは各個人への住居の改修費等が支給されているわけではなく、政府はもっぱら宣伝やインフラ整備を行っているとか。



見て下さい！子供の笑顔と空の色なんかイイデスネー



路地はかなり狭く、建物はくっついている。

## 龍門古鎮をたずねて

古い村を訪ねた感じがします。

人々はゆっくり時を過ごし、都会の忙しさが嘘のような、ここだけ時間が止まっている感じです。

2時間かけて行ってよかったです。是非、杭州へ行った方は一度たずねてみてはどうでしょうか？

タイムトリップしたみたいになりますよ！

何十年先、是非もう一度行ってみたいですね！その時は子供も大きくなって妻と散歩がてらにゆっくり歩いてまわりたいです。  
(変わってるだろうな)

このあとは一度ホテルに帰着替えてから（K氏はスーツで決めてました）市内の大型ショッピングセンター Carrefour(カルフル)へ行きました。

ここはかなりにぎわっています。人が多い！日本にもありますよね。以前、南町田にもありましたよねー（潰れたみたいですけど）

これからこのような形態の大型店がドンドン出店しそうな感じがします。日本みたいですね！そして小さい小売店がダメになっていくんだろうな。

ここで少しお土産を買い、そのあと食事をしていたらもう8時過ぎ急いでホテルに帰り、次の日に備えて床に就きました。

なわけねーだろ

そして夜は更けていくのでした！（もう体がボロボロ）

[その4 続きを読む](#)

■ マンスリーNEWS アーカイブ	
<a href="#">→</a> 番外編その2	<a href="#">2006年マンスリーNEWS番外編 中国・杭州レポート その2</a>
<a href="#">→</a> 番外編その1	<a href="#">2006年マンスリーNEWS番外編 中国・杭州レポート その1</a>
<a href="#">→</a> 最新	<a href="#">マンスリーNEWS トップページ</a>
<a href="#">→</a> 2005年度	<a href="#">2005年のマンスリーNEWS アーカイブ</a>
<a href="#">→</a> 2004年度	<a href="#">2004年のマンスリーNEWS アーカイブ</a>